

環境への配慮に関する方針

制定：平成 26 年 3 月 14 日

東急リアル・エステート・インベストメント・マネジメント株式会社

1. 背景と目的

グローバルの不動産投資運用業界においては、温室効果ガス排出の多くが不動産セクターに起因することを背景に、国連責任投資原則（PRI）、およびその不動産版である「責任ある不動産投資」（RPI）が普及し、運用業務の全般において環境への配慮の重要性が広く認識されつつあります。

当社は、東急リアル・エステート投資法人の資産運用会社として、投資主価値の最大化を究極の目的とし、成長性、安定性及び透明性の確保を目指して資産運用を行っています。そのためには、業務運営における環境への配慮と、その取組みの適切な開示がますます重要になっていくと考えており、ここに「環境への配慮に関する方針」を策定し、当方針を日々の業務において実践し、その活動状況につき投資家等とのコミュニケーションを図っていきます。

2. 環境への配慮に関する方針

当社は、不動産投資運用における環境への配慮の重要性を認識し、企業の社会的責任として、環境負荷の低減や、持続可能な社会の実現を目指した取組みを継続していきます。

（1）環境への配慮に関する取組みの推進

①省エネルギーと低炭素化の推進

不動産の運用におけるエネルギーの効率的な利用と、省エネルギーに資する設備の導入を図り、エネルギー使用・温室効果ガス排出削減に貢献します。

②節水と廃棄物削減の推進

省資源・循環型社会の実現に貢献するため、節水と3R（リデュース、リユース、リサイクル）に係る運用面の取組みを推進します。

③安全衛生や快適性の配慮

災害・BCP 対応や室内環境の快適性など、不動産利用者の安全衛生や福祉に配慮した運用を行います。

(2) 環境への配慮に関する推進体制の整備

①責任ある法人としての体制の整備

(i) 組織体制

上記(1)に掲げた取組みの実効性を確保するため、環境への配慮の推進に関する組織体制を整備します。

(ii) コンプライアンスとリスクマネジメント

環境に係る法令を遵守すると共にその変化に適切に対応し、環境に係る諸リスクを適切に管理します。

(iii) 情報開示と環境認証・評価の活用

投資家・テナントなどの関係者に対し、環境への配慮に関する方針と活動状況の開示に努めます。また、省エネルギー・省資源などの取組みを具現化するために、環境認証・評価の活用を推進します。

(iv) 教育・啓発

環境への配慮に関する従業員の教育・啓発活動を継続的に実施します。

②社外の関係者との協働

環境への配慮に関する方針を実践するため、テナント、プロパティ・マネジメント会社等の関係者とも協働し、環境配慮を推進するよう働きかけます。

3. 規程及び細則（ガイドライン）の制定及び見直し

当社は、「環境への配慮に関する方針」の実効性を確保するために、必要に応じて、別途規程及び細則（ガイドライン）を制定するとともに、社会情勢の変化、国民の意識の醸成、技術の進展等の諸事情を踏まえ見直しを行ってまいります。

以上